

魚類の検査結果

R元 (2019) . 6. 26

栃木県農政部

今回の検査結果

天然魚

No.	魚種名	河川名	採捕地点名	検査結果 (Bq/kg)				分析機関	採捕日	備考
				判定	セシウム合計	セシウム134	セシウム137			
1	アユ	思川	鹿沼市	適合	検出せず	検出せず(<4.2)	検出せず(<3.9)	1	R1.6.18	
2	ヤマメ	思川	鹿沼市	適合	検出せず	検出せず(<4.3)	検出せず(<5.0)	1	R1.6.18	
3	ウグイ	思川	鹿沼市	適合	検出せず	検出せず(<3.8)	検出せず(<4.2)	1	R1.6.18	
4	ヤマメ	大谷川	日光市	適合	検出せず	検出せず(<2.2)	検出せず(<2.6)	2	R1.6.10	
5	アユ	男鹿川	日光市	適合	検出せず	検出せず(<3.3)	検出せず(<3.5)	2	R1.6.13	
6	ヤマメ	男鹿川	日光市	適合	検出せず	検出せず(<3.9)	検出せず(<3.9)	2	R1.6.13	
基準値(一般食品)				100 Bq/kg						

養殖魚

No.	魚種名	採捕地点名	検査結果 (Bq/kg)				分析機関	採捕日	備考
			判定	セシウム合計	セシウム134	セシウム137			
1	ニジマス	日光市	適合	検出せず	検出せず(<2.5)	検出せず(<3.7)	2	R1.6.13	
2	ヤマメ	日光市	適合	検出せず	検出せず(<3.0)	検出せず(<3.8)	2	R1.6.13	
基準値(一般食品)			100 Bq/kg						

- 注1) ()内の数値は検出限界値であり、例えば「検出せず(<6.3)」は、放射性物質が存在しない又は検出限界値 6.3未満であることを示す。
 なお、検出限界値とは、測定において検出できる最小値であり、検体ごとの密度の違いなどにより同じ機器で測定しても、検体ごとによって変わる。
 注2) セシウム合計値は、「食品中の放射性物質の試験法について (H24. 3. 15厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知)」により、有効数字2桁で表示。
 注3) 分析機関【1:(公財)海洋生物環境研究所 2:(一財)九州環境管理協会 3:(株)静環検査センター 4:(一社)日本海事検定協会 5:いであ(株) 6:(一財)日本冷凍食品検査協会 7:環境総合研究機構(株) 8:(公財)日本分析センター 9:株環境総合テクノス 10:(一財)日本食品分析センター 11:株総合水研究所 12:東北緑化環境保全(株) 13:ユーロフィン日本総研(株) 14:(一財)日本食品検査 15:栃木県農業試験場】